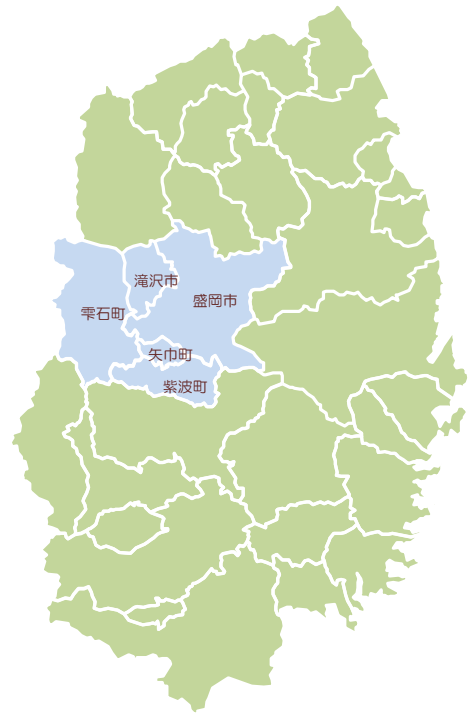


県土整備部の職場紹介 No.3 盛岡広域振興局土木部



地域概要

当部の所管区域は、盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町の2市3町にわたり（建築住宅室は八幡平市、岩手町、葛巻町を併せて所管）、その面積は約 1,984k㎡で県全体面積の約 13%を占めています。中核市となった盛岡市及びその周辺地域は県内で最も高い人口集中地域を形成し、人口は約 43 万人で県全体の 1/3 が所管区域に居住しています。

本県の政治・経済・教育・文化の中心的役割を担い、東北新幹線、東北縦貫自動車道の北東北の玄関口として、盛岡駅西口開発、盛岡南新都市開発等による新たな都市軸の形成など、北東北の拠点にふさわしい都市圏としての機能強化が図られています。

組織体制

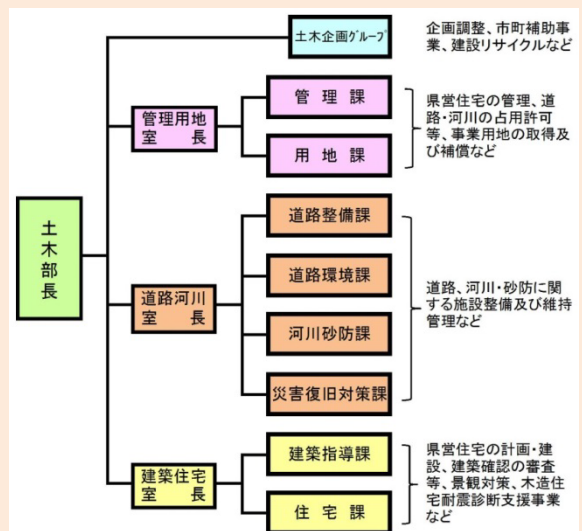
(1) 組織スローガン：

～想いを形に 地域を元気に～

(2) 組織の特徴：

当部には3つの室があるのが組織の大きな特徴で、3室8課、58人の体制となっており、広い分野にわたる公共土木施設の整備、維持、管理及び許認可事務を担当しています。

盛岡合同庁舎の5階西側に事務所があり、事務所がU字の形をしているため、顔を合わせることが少ない職員もいますが、意思疎通を図りながら、県民から信頼される県土づくりを目指しています。



今年度の主な取組

(1) 公共土木施設の適正な管理【管理用地室】

管内における市町村国庫補助事業等の事務指導、県営住宅の管理、屋外広告物の許可、建設業許可・経営事項審査、道路・河川の占用許可等を行っています。

特に県営アパートの管理は、管理棟数 22 棟（全県棟数 65 棟）と県内の3分の1、管理戸数 2,989 戸（全県戸数 5,912 戸）と県内の半数を管理しています。

また、道路占用では、これから予定されている「盛岡さんさ踊り」、「希望郷いわて国体、希望郷いわて大会」に向け、自転車の不法駐輪の取り締まりを実施しています。



① 不法駐輪の現状



② 自転車の移動



③ 移動完了

(2) 矢巾スマートインターチェンジの着工【道路河川室】

県内初となる矢巾スマートインターチェンジ（SIC）を整備しています。SICとは、ETC搭載車に限定したインターチェンジで、矢巾PAからの乗り入れが可能になります。

矢巾SICの整備によって、平成31年度に移転予定の岩手医科大学付属病院へのアクセスを改善し、搬送時間の短縮による救命率の向上や、岩手流通センターへの物流の効率化が図られるほか、高速道路の利便性向上により地域間交流が活発化され地域振興の発展に大きく寄与するものと期待されています。



平成28年5月28日の着工の様子

(3) 公営住宅の長寿命化と建築物の防災対策の推進【建築住宅室】

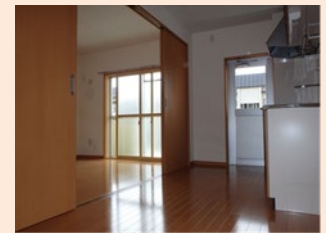
全県下の県営住宅の企画・設計を通して、浴室等設備の改善や床の段差解消等による高齢者等への対応、外壁や屋根などの劣化対策を図ることで、公営住宅の長寿命化とライフサイクルコストの縮減に向けて取り組んでいます。

また、建築基準法、建築土法及び耐震改修促進法に基づく確認や検査など建築物の安全・安心の確保に向け取り組むとともに、県の支援事業を活用した木造住宅の耐震化を促進しています。

4月に発生した熊本地震への応援として、当部の職員6名が応急危険度判定員として現地で活動しました。



県営松園アパート10号棟（H27改修）



改修後の室内

(4) 地域協働による活動

管内で開催される地域活動に職員が積極的に参加しています。

春：滝名川清掃、御所湖周辺統一清掃、盛岡駅前清掃

夏：滝沢砂防公園の草刈、国体おもてなしロード

県南広域振興局土木部と連携して、国体の盛り上げに貢献できるよう、国体競技会場への主要アクセス道路において、機運醸成事業を実施しています。

具体的には、住民と協働で視線誘導標へのマスコットシールの貼付、住民協働草刈用のぼりの製作、住民協働団体用のサインボードの設置などにより国体のPR活動を進めています。

秋：県庁前中央通りの落葉清掃、御所湖周辺統一清掃



住民協働団体用のサインボード

